

## 篠川事務所の”ホット”通信

2017年10月号

税理士・中小企業診断士 篠川徹太郎事務所

〒226-0003

神奈川県横浜市緑区鴨居 3-1-9-201

電話：045-530-3727 F A X：045-530-3728

<http://shinokawa-office.com>

[mail@shinokawa-office.com](mailto:mail@shinokawa-office.com)



ホットな話題をほっとするような分かりやすさでお伝えする”ホット”通信・・・Vol. 38 をお届けします。

都政でのグリーンの風が、国政をも巻き込もうとしています。自民一強に楔を打ち込む姿勢は一定の支持を集めそうですね。足の引っ張り合いはともかく、しっかりとした政策論争を期待したいです。

### 【新たに購入した設備の固定資産税は半額】

「中小企業経営強化税制」は、従来の中小企業投資促進税制の上乗せ措置が改められて独立した制度になったものです。サービス産業はわが国GDPの約7割を占めています。その生産性の向上を図るために、今回は対象設備に工具器具備品（ルームエアコン・冷蔵庫陳列棚など）や建物附属設備（エレベーター・高圧受電設備など）が加わりました。この制度には、青色申告書を提出する中小企業者等が平成二十九年四月一日から平成三十一年三月三十一日に、中小企業等経営強化法の認定を受けた経営力向上計画に基づき、一定の設備を新規取得等して指定事業で利用するなどの条件があります。設備は生産性向上設備（A類型）と収益力強化設備（B類型）の2つがあり、A類型は「生産性が旧モデル比で年平均1%以上向上する設備」とされ機械装置・測定工具および検査工具・器具備品・建物附属設備などが、B類型は「投資収益率が年平均5%以上の投資計画に係る設備」とされ機械装置・工具・器具備品・建物附属設備などが対象です。



法人税、所得税の税制措置としては、即時償却（購入事業年度に取得価額の100%を償却）または取得価額の10%の税額控除（資本金3000万円超1億円以下の法人は7%）があり、いずれかを選択することができます。また新たに購入した設備にかかる固定資産税は3年間、半額になります。

### 【走り出した「コンビニ」の今後に注目！】

移動販売車で定期的に商品を届ける「走るコンビニ」が伸びています。中でもセブン-イレブンは2019年までに未進出の沖縄県を除く46都道府県への展開を目指し、過疎地はもちろん高齢者施設や都市近郊の団地など、総務省が後押しする買い物弱者対策事業として積極的に取り組んでいます。食料品や日用品のみならずコミュニティの場を提供して地域を見守る役割を担うなど、コンビニならではの卓越した顧客サービスに基づくビジネスモデルの構築に期待です。



## 【今月の教えてキーワード：貨客混載】

バスや鉄道を使って貨物と旅客と一緒に運ぶこと。運送業界におけるドライバーの人手不足と、中山間地域で進む高齢化や過疎化により公共交通機関の重要度が高まるものの、その維持が困難になってきているという状況を克服するための策。例えばヤマト運輸では、岩手県北自動車ではバス、京福電気鉄道とは電車での連携を行うなど各地で取り組みが始まっている。今後は都市部でも水上バスやタクシーとの連携を試みる動きがある。

## 【勝負は2秒】

人生においてたった一度しかないチャンス。いったい何だと思えますか？それは「第一印象」です。その人との初対面はたった一度だけ。「第一印象」に二度目はありません。それなのに、たった一度の第一印象を意識している人は意外と少ないようです。

商売でたくさんの人に出会うあなたはのでしょうか。

第一印象とは人や物に接したとき、最初に受ける感じのこと。いわゆる「パッと見」です。その時間は15秒だとか10秒以内だとかいろいろいわれていますが、たった2秒という意見もあります。

### 最初の2秒



以前ベストセラーになった『第1感』の著者マルコム・グラッドウェル氏によれば「何かへの評価は2秒で決まる」のだとか。最初の2秒で感じる「なんとなく」を「第1感」と名付け、「(第1感で)状況や人物を瞬時に判断した」

場合も、「半年以上の時間をかけて判断した」場合も、そのものの評価はほとんど変わらないと分析しています。

私たちは平均で3秒に1回まばたきをしているそうですが、2秒というのはまばたき1回分にも満たない一瞬。初対面で「はじめまして」とあいさつを交すまでもなく、私たちは瞬時になんとなく相手を評価して、同時に自分も評価されているのです。しかもその評価はけっこう的確なので、第一印象が悪かったから時間をかけて自分を分かってもらおうと努力しても、修復できる確率は低いというわけです。人には実にさまざまな面があり、それらをひっくるめたものがその人なりの味わいとなります。しかし自分の人となりを見てもらう前に、出会いがしらの2秒で与える印象は思っている以上にインパクトが強いことを覚えておきたいものです。

服装や立ち居振る舞い、話し方や声のトーンなど第一印象を良くするための演出はいくらでもあります。結局は「普段の自分」がにじみ出てしまうものですし「普段」は隠せません。だったら普段からカッコ良く。カッコつけるのではなく、自意識よりも美意識を大事にしていきたいものですね。

俺はまだ  
発展途上人  
なんですよ

今を生きる！

## 先人の言葉

日本の俳優である松田優作の言葉。誰からも一目置かれる存在となり、その業界で名をはせても「まだまだ途中だ」と思える者が明るい未来を切り拓くのだろう。

## 【蠅の帝国・蛍の航跡】

医師であり注目すべき作家である帯木蓬生氏が先の大戦に従軍した軍医30名の体験を聞き語りや遺稿から再現します。負け戦を強いられた日本軍の軍医たちが、どのように生と死に向かいあっていたのか、医師の冷徹な目から見た戦争の実相を多面的に描き出しています。

